

固有技術で世界最先端技術開発プロジェクトへ参加

F社 (庄内)

フレキシブル基板の表面実装に関する独自のノウハウを確立し、設計～組立までを受注・生産している

1. 相談のきっかけ

よろず拠点の開設を知っている人からの薦め。
他に相談するところがなくよろず拠点に相談すればどのような問題も解決可能と考えて来訪した。

2. 課題整理・分析

最近、山形大学工学部教授の研究グループが世界最薄フィルムへの印刷による回路形成に成功したというニュースを聞き、会社の今後も同じ方向の技術開発を目指しているので、プロジェクトに参加してその成果を製品開発に応用したいとの強い希望があり、紹介することになった。

3. 解決策の提案

面談日程を調整したが、相談者が教授との面談に同行を希望したので、コーディネーティングのため同行した。



4. 成果

教授の成果はまだ基礎研究段階であり、実用化には10年ぐらいかかるとのことで直ちに応用はできないことが判明した。また、先端的な研究成果であるためにすでに大企業が争って共同研究を申し込んでいる状況であったが、県内ではただひとつで高い技術を有する相談者の企業ということ売り込み、最薄膜フレキシブル基板によるプロトタイプ回路作製に当たって相談者の企業の技術を使うことでコラボするという結果になった。